

【平成30年度第2回青梅市子ども・子育て会議の質疑および回答表】

資料1

Page	照会・質問項目	回答
1	- 歯科治療について、なぜ治療を受けないのか(できないのか)背景を探してほしい。	検診の結果、むし歯が見つかった児童・生徒には、受診勧告書を渡し、治療が完了した旨の報告書の提出を求めている。提出がない場合は養護教諭が保護者に受診を促すが、意識の低い保護者もあり、治療が複数回に渡るうちに途中で通院しなくなったり、本人が治療を拒否することを理由に受診させないケースもあると考える。
2	1 幼稚園・保育園における改善点として“サービス内容の向上の検討”とあるが、子ども家庭部として何が問題と考えているか。幼稚園として何が必要と考えているか。	園児数の減少、特に市外の幼稚園へ流出してしまう要因の一つにサービス内容の問題もあるととらえている。市外の幼稚園のバスが青梅市内を広範囲に回っている状況を踏まえ、市内の園バスの運行ルートの見直しや、給食、園外教育の充実などについても検討の余地があると考えます。
3	2 認可保育所における改善点として“全員が入所できる体制を検討”とあるが、具体的にどのような検討をしているのか。	入所希望者に対しては、空きのある園の周知や、園ごとの待機状況など、提供可能な情報を丁寧に説明すること、また、保育園に対しては需要にあった年齢ごとの定員の見直しについて相談するなどの検討をしている。
4	5 認定こども園について、入所希望者は何人いたのか。	市内に認定こども園は1園ある。 4月には前年度から継続して入所を希望した児童が29人、新たに入所を希望した児童が7人おり、29年度は36人の入所児童をもってスタートした。 その後、認定こども園のみを希望した児童が平成29年度中に9人いたが、年度途中に入園児童の退所などがあったことなどから、結果的に入所希望者は定員を超えることはなかった。
5	24 病児・病後児保育どちらの利用者が多いのか。羽村市、福生市の利用者を教えてください。	平成29年度利用者延べ人数は次のとおりである。 福生市 病児 822人 病後児 369人 羽村市 病児 257人 病後児 73人
6	38 放課後対策事業の実施における改善点として“減少している”とあるが、市はこのことを望ましいと考えているのか。	事業の実態を示す数値は、障がい者サポートセンターにおける放課後対策事業の利用者数であり、学校が終わった放課後における活動場所として、遊び・文化活動・スポーツ等への支援を通じて、子供たちが安全に遊べる環境を確保するとともに、働いている保護者の負担を軽減することを目的に障がい者サポートセンター開設当初から実施しているが、年々利用者数が減少傾向にある。 この要因として、近年民間事業者が行う放課後デイサービスが充実してきており、同等のサービスを提供している。このため、障がい者サポートセンターを利用していた児童が民間のサービスへ移行したためと推測する。 障がい者サポートセンター開設当初は同事業を実施する民間事業者は皆無に等しく、民間が充実するまでのつなぎ的な意味も含めて実施した経緯もある。 今後は同事業を見直し、民間事業者の力を借りながら施策を充実させるとともに、必要な資源を他の事業の充実に向けたいと考えている。
7	42 休日保育事業の実施について、「ニーズが少なく～」とあるが具体的に説明願いたい。	休日保育について年々利用者が減少し、年間延べ利用者数が22人となった平成26年度を最後に、実施施設が無くなりました。また電話等の問い合わせについても現在は年間数件となっている状況です。 このことから、「ニーズが少なく～」としましたが、現在、希望者の把握はできていないことから、「平成27年度から実施施設はありませんが、今後も実施施設を募っていきます。」のように表現を整理したいと思います。

【要望項目】

Page	要望項目	回答																																
1	5 認定こども園の「改善点など」の表記の仕方について検討願いたい。	「29年度、定員割れはおこしておらず、また待機児もいませんでした。」の表現に改める。																																
2	17 子育て短期支援事業について、児童養護施設から現状を聞いて、市の施策に生かしてもらいたい。	小学生の利用については、委託している児童養護施設の意見を聞きながら、検討していきます。																																
3	25 サマー学童について、地区の内外でどのような割合で利用しているのかわかりやすく表記願いたい。	記載場所ごとに記入していたが、一覧表で記載する。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学童クラブ名</th> <th colspan="2">西部地区</th> <th colspan="2">東部地区</th> <th rowspan="2">その他地区</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>低学年</th> <th>高学年</th> <th>低学年</th> <th>高学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1こども</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>藤橋こども</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	学童クラブ名	西部地区		東部地区		その他地区	合計	低学年	高学年	低学年	高学年	第1こども	6	6	3	1	0	16	藤橋こども	0	0	3	8	0	11	合 計	6	6	6	9	0	27
学童クラブ名	西部地区			東部地区		その他地区	合計																											
	低学年	高学年	低学年	高学年																														
第1こども	6	6	3	1	0	16																												
藤橋こども	0	0	3	8	0	11																												
合 計	6	6	6	9	0	27																												
4	36 養育家庭の普及について、広報等を通じ、より啓発に努めてほしい。	8月に市のホームページの養育家庭に関する記事を見直し、内容を充実させました。また、今後、市の広報においても、より一層の普及と啓発に努めます。																																